

美容外科

1. スタッフ（2018年4月1日現在）

科 長（教 授）吉村浩太郎

副科長・病棟医長（講師）

宇田 宏一

外来医長（助 教）田代 絢亮

医 員（病院助教）池 大官

医 員（非常勤講師）加藤晴之輔

医 員（非常勤医員）朝日林太郎

医 員（非常勤医員）吉積 佳世

医 員（非常勤医員）森 正徳

シニアレジデント 2名

2. 診療科の特徴

2004年4月より当科を開設している。受診患者の主訴の多くはシミやホクロといった皮膚美容関連のものである。いずれも外用薬やレーザー照射といった低侵襲の介入により良好な結果を得ることができるため、患者の満足度も高い。

2016年4月より、顔面の加齢変化に対するボトックスやヒアルロン酸などの治療も開始し、局所麻酔下、全身麻酔下の美容外科手術も積極的に受け入れるようになり、患者実績は飛躍的に増加した。現在では、非侵襲治療から、タミータックや骨切りなどの侵襲の大きい手術まで、あらゆる領域の美容治療を取り扱っている。また、当科で開発した瘢痕治療テープを用いた高度な瘢痕治療を開始するため、これまで以上に交通外傷や手術のあとの傷痕の治療に力をいれる。乳房再建患者の乳頭・乳輪再建のための刺青術も行っている。

・施設認定

日本形成外科学会認定専門医制度指定認定施設

・専門医

日本美容外科学会教育専門医 吉村浩太郎

・評議員

日本美容外科学会理事・評議員 吉村浩太郎

日本美容外科学会評議員 宇田 宏一

日本抗加齢医学会評議員 吉村浩太郎

国際美容外科学会日本代表理事 吉村浩太郎

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数 29人

再来患者数 208人

紹介率 50%

2) 入院患者数

0人

3-1) 術式別手術件数

術 式	手術件数
炭酸ガスレーザー	6
Qスイッチ付きルビーレーザー	25
Vビーム	3
ヒアルロン酸注入	14
フェイスリフト	1
腹壁形成（タミータック）	1
脂肪吸引	4
下眼瞼形成	2
陥没乳頭	2
その他	1
合 計	59

3-2) 手術術式別・術後合併症件数

なし

4)～8)

なし

4. 2018年の目標・事業計画等

1) 新来患者数、外来手術数の増加

2) 美容外科領域の手術の拡充